

那覇市立教育研究所

研究所だより



那覇市金城 3-5-3
所長 田中 浩三

明けましておめでとうございます！

新年を迎え、平成 23 年度 後期研究員の研究も折り返し地点を過ぎました。テーマ検討から頂立て、中間検討会を経て、検証授業の実施・考察・まとめの時期に差し掛かり充実した日々を送っています。次年度の募集締め切りが近付いています。多くの応募をお待ちしています。



「中核市移行」準備の一年に
所長 田中 浩三

新年 あけましておめでとうございます

辰年の新たな一年がスタートしました。昨年は多くの教職員のご協力の下、研修等を中心に那覇市の教育課題解決に向けて一歩ずつ前進した一年だったのではないかと感じております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年は当教育研究所にとっては、平成 25 年度よりスタートする那覇市の中核市に向けた準備の一年でもあります。

「中核市」といえば、人口三十万人以上の市を対象とした都市機能の向上を図る目的で制度化されており、全国で既に四一市が移行しております。移行の際は県が実施している多くの業務等が市に委譲されることとなります。そのことにより業務の一元化が図られたりスピード化につながったりして、市民へのよりよいサービスや特色ある都市づくりができることが言われています。

教育関係業務の移行では、これまで県教委が実施してきた教職員研修を中心とした数多くの研修が市教委に委譲されます。それに伴い、当教育研究所においても「初任者研修」や「十年経験者研修」という法定研修等を独自に実施することになっていきます。両研修とも教師の指導力向上に向けた経年研修として重要視されており、それだけに、これまで実施してきた那覇教育事務所や関係機関との連携の下、年間を通して綿密に準備を進めていきたいと考えています。これらの準備と並行して、従来取り組んでいた教職員研修や授業研究・情報教育等に関わる学校への支援についても継続していききたいと思います。

このように、中核市移行という大きな節目の準備の年を迎えています。当教育研究所においては「本市教育の充実を図る」という視点で、教職員研修の進め方や内容等を検討する一年と位置づけて取り組んでいく所存です。

12 月 12 日（月）に大城邦夫研究員、12 月 14 日（水）に、島村育与研究員の「検証授業及び授業研究会」が行われました。

第97期 研究員 検証授業



検証授業は、相互交流の視点を「子どもにどう伝えるのか」「どのようにすれば伝わるのか」ということを意識して行いました。私が伝えているつもりでも子どもには伝わっていなかったりと、授業を実施してみても課題が出てきました。目の前の子どもの実態をよく捉えて、授業展開していくことの大切さを実感しました。（島村）



研究員からも率直な意見が出され、考えさせられる部分があり良かったです。今までの授業反省会では同じ中学校教師による意見が主でしたので、幼稚園、小学校と異校種の先生方からの違った角度からの意見が聞けてとても良かったです。（大城）



新指導主事着任のお知らせ

比嘉真一郎指導主事



昨年 12 月 9 日付けで、教育研究所に赴任してきました比嘉真一郎と申します。

今回急な異動で不安の多い中でのスタートではありましたが、田中所長をはじめ指導主事の先生方や研究員、市職員の皆さんの親切丁寧なサポートがあり、とても気持ちよく仕事をさせてもらっています。

研究所では、これまでの業務内容と一変し、調査物の集約と分析、連絡調整、企画立案、会議等が多くなり、行政での仕事を少しずつ経験させてもらっています。子どもたちと接する機会はめっきり減りましたが、現場での教育活動同様、関わっている事はすべてその先にいる子どもたちのためという思いや意識は変わらないし、むしろこれまでよりも強くなったと感じています。今後は、研究所が大切にしている学校支援に全力で取り組んでいきたいと思っています。

また、平成 25 年度に控えている那覇市の中核市への移行に伴う、県から市への教育行政の移譲がスムーズにいくように研究所の力を結集して頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

締切間近 2/3(金) 平成24年度 教育研究員募集のお知らせ

教育研究所では 平成 24 年度教育研究員を募集しています。詳しく募集要項でお確かめください。

那覇市立教育研究所HP または Desknet's で。

第 98 期【前期】 平成 24 年 4 月 1 日から 6 ヶ月

第 99 期【後期】 平成 24 年 10 月 1 日から 6 ヶ月

研修の流れ

理論研究



研究内容の検討



検証授業



まとめの検討



その他、多くの座内研修や、予定された学びの機会があります。

第97期 研究員 所内講座・研修

エクセル講座(12月26日)



日頃は、名簿や日程表等の作成に頻繁に活用しているエクセルですが、エクセルの様々な機能(表計算、グラフ作成等)を活用することによって、効率よく、わかりやすい資料や教材の作成が行えることを実践を通して学ぶことができました。(屋嘉部)

「人類館」鑑賞(12月26日)



「人類館」事件を題材にしなから、沖縄戦、復帰運動という沖縄の歴史を、三人で演じた劇で、沖縄の人々も差別されながら、実は差別をしているという事実。そして今も変わっていない沖縄への偏見。そうした事を考えさせられた内容でした。(大城)



HP作成講座(12月26日)



今日の講座で、良かったのは Word などを使用する時の裏技が学べた事です。

使う時に気になるのが、画像を勝手に使われること。自分がホームページに貼った画像が勝手に使用された場合には、大変困るので、対策の話も質問したが、フリーソフトを使用して、簡単にとることができるというので、改めて資料(個人情報)の保護、著作権等、気をつけないといけないと思ったのと、生徒にも改めて注意喚起が必要と感じた。(大城)

検証授業も終わり、アンケートのまとめなどにエクセルを使うので、今の時期に学ぶことができ良かったです。説明を聞きながら、操作を行っているときは、できるのですが、もう一度自分でやろうとすると、やり方を忘れていたりするので、繰り返し触りながら覚えていこうと思います。(島村)

第2回・第3回 コンビニ国語講座開催



12月16日(水)、1月11日(水)に、第二回及び第三回「コンビニ国語講座」が開催されました。第二回は「五段階情報整理法」を用いたスピーチ、第三回は「朗読」をテーマでの講座でした。参加された先生方の感想を掲載いたします。

段階を踏んで、スピーチの力が身に付きそうです。講座の流れも、易 難 へと進み、感服いたしました。小学校の先生との交流もいいですね。発想がやわらかで、優しく、温かな心が伝わってきます。



生徒たちに「書け、書け」って言うてるわりに、自分で書こうとすると、意外に難しいな～と感じました。「五段階情報整理法」で書いてみると思いのほかスピーチがうまく進められた気がしてよかったです。

理論、具体例、演習、リラックスとバランスのよい構成で、スッキリ頭に入りました。グループ内での交流の仕方、クラス全体での共有の仕方も参考になりました。講座資料の表紙にあった言語に関する名言を読むと話すことや言葉についての見方が広がりました。講座関連の図書室資料の紹介もよかったです。



朗読の奥深さ……難しさ、そして楽しさを実感しました。「レッスン」も全部体験してみたいです。「声のベクトル」は大変参考になりました。舌足らずで本読みにはコンプレックスがあるので、もっともっと勉強が必要だと思いました。

声を使って授業をしているのに声が本当に相手の心に伝わるのか習ったことがなかったと思います。声を磨くだけで教室の環境が変わると思いました。ぜひ、多くの先生に伝えたい。朗読の楽しさや表現の工夫、授業でも取り入れていきたいと思っています。

コンビニ国語講座 受講者募集中!

第4回講座は2月8日(水)、第5回講座は3月13日(水)それぞれ 17:30 からです。

申し込みはメール、電話、fax にて受け付けています。

詳しくは那覇市立教育研究所へまたは Desknet's で、気軽にご連絡ください。

平成23年度 沖縄県到達度調査結果

昨年12月に行われた「沖縄県学力到達度調査」の沖縄県と那覇市の各教科平均正答率を報告します。考察や課題となる問題例と指導の重点等の詳細については、後日 Desknet's に掲載いたします。

小学校		3 年		5 年	
		那覇市	沖縄県	那覇市	沖縄県
国語	A	74.6	74.1	73.2	72.1
	B	67.8	64.5	64.2	62.4
算数	A	84.8	82.6	73.7	72.4
	B	67.0	63.5	47.3	44.3

中学校	中 2	
	那覇市	沖縄県
国語	60.7	59.3
数学	54.4	50.8
英語	58.8	54.5
社会	54.2	51.8
理科	48.2	45.5